

子ども達は身近な自然との触れ合いを通じ、驚きや発見に満ちた日々を過ごしています。4歳児は、積み木遊びなどを通して友だちと思いを伝え合い、ごっこ遊びへと世界を広げる中で、共に遊ぶ楽しさを感じています。一方、5歳児は身近な生き物への関心が高まっています。飼育を通して成長過程を観察し、図鑑の知識と自分達の予想を比べ合うなど、友だちと夢中になって探究を楽しんでいます。



4月なんとなく積み上げた積み木に、友だちと一緒に乗り、一緒にいることを楽しんでいた子4歳児の子ども達。

今では、乗り物の絵本を見ながら作るものを決め目的を持って作る様子が見られるようになりました。



バスにのって しゅっぱーつ！

ぼくもてつだよ！

かじだ たいへんだ！

火事です！



水をかけて火を消そう！

バスがいつの間にか、お家に変身！子ども達の思いに合わせどんどん遊びが展開していきます。



その後、お家ごっこを楽しみました

これだ！図鑑と一緒にだ！アゲハチョウの幼虫だ！“1齢”“2齢”“3齢”“4齢”“5齢”幼虫があるんだね。



(お休みの間に)4齢から5齢になってる！



5歳児の子ども達が、モンシロチョウの幼虫と違った幼虫をキンカンの木で発見！「これなんだろう？」子どもの関心が膨らみ、調べてみる中でいろいろな発見がありました。



たんぽぽさん見て見て！幼虫からチョウチョになったよ！

アリの巣を見たいと、関心を持った5歳児の子ども達！「こんな入れ物を買ってください」という声に答えて準備した薄い透明のケースの中に捕まえたアリを入れて観察することになりました。



アリを捕まえるのって思っていたより難しい！すばしっこい！

砂場には小さいアリが、畑には中くらいのアリが、木々のあるX坂には大きなアリがいることを発見しました。また、アリによって巣の作り方が違うことも発見しました。

見て見て！X坂のアリはめっちゃくちゃでかい！

